

IPO銘柄 フリークアウト (6094・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6094	100 株	公募: 53.00 万株 売出: 16.50 万株 (OA10.42 万株)	1,910 円 ~ 2,000 円 (-)	野村証券



ネット広告のリアルタイム広告枠取引サービスで先駆的

■ 事業内容

インターネット広告のリアルタイム広告枠取引を行うためのDSP (デマンドサイド・プラットフォーム) 「FreakOut」を提供。広告主の持つアクセス情報や広告配信情報、会員情報といったビックデータを自社開発の解析ソフトを用いて分析するサービス「MOTHER」も手掛ける。国内のRTB (ネット広告のリアルタイム入札) 市場に初めて参入したリーディングカンパニーで、12年4月に米国、13年10月にはシンガポールに子会社を設立。フリークアウトでは販売は直接のほか、広告代理店を通じた代理店販売、広告代理店に対するOEM (相手先ブランドによる生産) 代理店販売がある。DSP事業の単一業態。

■ 特徴

DSP「FreakOut」は有望な見込み顧客に対して多様な配信手法を備えている。潜在層には「オーディエンス拡張」など、興味層には「キーワードマッチ」など、また顕在層には「リターゲットング」などといった、消費者の行動プロセスに応じてターゲティングした広告配信を実現している。

アナリストコメント

■ 定量分析

14年9月期の連結経常利益は前期比57.6%減の1億600万円を計画する。若いベンチャーで収益規模もまだ小さく、今期は人員増強や上場費用を吸収できずに大幅な減益となる。ただ、売上高は前期比45.2%増と高い伸びを続ける見込みであり、成長性に対する不安は大きくない。

■ 定性分析

先端的なビジネスモデルを掲げるネットベンチャー。大株主にはネット業界の著名人が並んでおり、設立から4期目で上場という若さもポジティブな材料。IPOマーケットで最も好まれるタイプの案件で、6月のIPOの中でも注目度はナンバーワンといえそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約16億円。新興市場上場案件として軽量感はないものの、人気化が想定されるビジネスモデルを考慮すれば争奪戦になる規模。ベンチャーキャピタル保有株には、90日間、公開価格の1.5倍までのロックアップ条項が付されている。(小泉健太)

■ 類似企業

フリークアウト (6094・マザーズ)	予想PER- (仮条件上限)
フルスピード (2159・マザーズ)	予想PER33.0倍
ホットリンク (3680・マザーズ)	予想PER171.0倍

■ 引受証券

野村証券、大和証券、SMBC日興証券、SBI証券、みずほ証券、岩井コスモ証券、いちよし証券、岡三証券、マネックス証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
12年9月期(実績)	944	—	174	—	74	—	14.9	—
13年9月期(実績)	2,162	129.0	251	44.3	86	16.2	16.2	—
14年9月期(会社予想)	3,140	45.2	106	▲57.6	1	▲98.0	0.3	—

※ 12年9月期から連結決算。11年10月、14年2月に株式分割(それぞれ1株→1,000株、1株→10株)を実施。
12年9月期、13年9月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
12年9月期	520,346	755	488	201	87.4	60.2	30.5
13年9月期	548,846	1,582	1,128	450	190.3	66.0	11.6

※ 12年9月期および13年9月期のBPSは遡及修正

大株主上位 (上場前)

氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1 本田 謙	3,350,000	55.35
2 海老根 智仁	450,000	7.43
3 アントレプレナー投資事業組合	400,000	6.61
4 ジャフコ・スーパーV3共有投資事業 有限責任組合	344,830	5.70
5 YJ1号投資事業組合	285,000	4.71
6 佐藤 裕介	255,000	4.21
7 GMO VenturePartners投資事業有限 責任組合	172,420	2.85
8 横山 隆治	150,000	2.48
9 衛藤 バタラ	100,000	1.65
9 川田 尚吾	100,000	1.65

経営陣

役職	氏名
代表取締役 CEO	本田 謙
取締役 COO	佐藤 裕介
取締役 CFO	横山 幸太郎
常勤監査役	齋藤 ふみ
常勤監査役	柳澤 文夫
監査役	小泉 文明

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会